

# 福寿園だより

Vol. 81

令和2年4月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名  
(うちショートステイ15名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名
- ◆福寿園ヘルパーステーション…………… (うち認知型12名)
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集  
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会  
福寿園広報委員会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70  
TEL (0244) 25-2811  
FAX (0244) 25-2812  
URL <http://minamisomafukushikai.or.jp>  
MAIL [fukujuen@chive.ocn.ne.jp](mailto:fukujuen@chive.ocn.ne.jp)

## さくらもち 作り



桜の花びら



美味しそう



上手にできるかな？



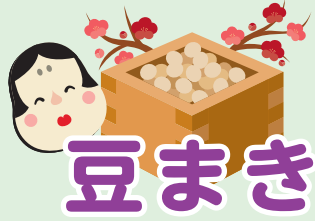
いただきます♪



ハイポーズ!!



特別養護  
老人ホーム  
福寿園



2月3日は、「節分」。当日、エリアごとに豆まきを行いました。  
ご利用者の皆さんは、「鬼は外！福は内！」と大きな声で力強く、鬼と厄を追い払っていました。  
今年は、個性溢れる鬼が登場し、「あれは鬼じゃない、カニだ」との声が上がり、笑いに包まれました。



鬼を追い払い、  
ご利用者の皆さんが  
今年も健康で  
笑顔溢れる一年に  
なりますよう！



利用定数変更

南相馬福祉会は、平成9年7月29日に県の認可を受けて設立し、平成11年4月1日、地域福祉の拠点としての役割を担うため、「特別養護老人ホーム福寿園」を開設いたしました。長期入所定員80名、短期入所定員20名の計100名が利用できるよう整備し、ご利用者やご家族、地域の皆さまからのご理解とご支援のもと、平成23年3月11日に発生した東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故を乗り越え、今日まで事業運営させていただいていることに感謝申し上げます。

さて、「特別養護老人ホーム福寿園」は、令和2年4月1日より、長期入所定員を85名、短期入所定員を15名に定数を変更することとなりました。

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故以降、地域の生活環境は激変しました。若い世代が地元を離れるなど世帯分離が進み、独居世帯や高齢者世帯が増加しました。その結果、介護を必要とする高齢者が、自宅での生活を継続することが困難となってい

る現状があります。必然的に施設への入所需要は高まり、福寿園では、令和2年3月現在で530名を超える方が入所を待たれております。

長期入所定員を5名増やすことにより、在宅で必要な介護を受けられずにいる高齢者を少しでも多く受け入れ、安心して生活を送っていただくこと、また、仕事をしながら介護をされている方の介護離職につながるための方の支援も図れると考えています。

短期入所の定員数は5名少なくなりますが、ご利用者の皆様には、在宅と施設の介護サービスを利用しやすく利用することで、ご利用者・介護者双方に良い影響をもたらす、在宅での生活を少しでも長く継続していただきたいと思っております。可能な範囲で空床ベッドを活用しながら、短期入所のご利用希望にも応えてまいります。

定数変更に限らず今後も地域の実情に合わせた柔軟な対応が必要となります。私たちは、地域福祉の拠点として、より一層信頼されるサービスの提供を心掛けてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



# ハッピーデー

## (福寿園デイサービス)

足裏(足底)は感覚器の役割を持ち、傾斜・でこぼこ・滑りやすさなど、路面や床の状況を把握しています。その感覚が歩行時の転倒予防や危険回避につながります。そう、足の裏はセンサーになっているのです！

足裏(足底)に刺激を与えることのメリットは…

- 足底筋を鍛え、衝撃吸収や姿勢を支えるための「土踏まず」を維持、形成する(偏平足の予防にもなります)。
  - 足裏にある身体の様々な器官とつながるツボを刺激。
  - 転倒予防、危険回避に重要な足裏の感覚器を鍛える。
  - 脳への刺激にもつながる、等があります。
- デイサービスセンターでは、ご利用者の状態に合わせ、三つの足底筋トレーニングを実施しています。



02 足裏全体での棒転がし



01 足趾のグーチョキパー



03 足趾でのタオル手繰り寄せ

# 愛 \*こんたくと!

## ヘルパーステーション

私たちホームヘルパーには、「ご利用者のお宅に伺い、一人ひとりのニーズに応え、自立した思い通りの生活を営んでいただけるようサポートする」という役割があります。

そのため、ご利用者の皆さんの健康管理も大事なケアになります。生活環境や身体の清潔に努めること、換気や加湿を心掛け、こまめな水分補給をお願いすることで体調を整えていただき

ます。また、ご利用者のできる範囲で体を動かしていただき、活動量を増やしてADLの維持・向上を図ることによって、他者の力を借りずにご自身の好みに合わせ、楽しみを持って毎日を過ごせるようになります。

職員も日頃の健康管理に努めるとともに、研修によって様々な知識を習得し、ご利用者の皆さまに質の高いサービスを提供できるよう精進してまいりますので、今年度もヘルパーステーションをどうぞよろしくお願いいたします。

# かけはし

## 福寿園居宅介護支援センター

介護保険制度は、3年ごとに報酬改正が行われています。2021年度の改正では、社会保障費の抑制、介護労働力の確保、多様化・複雑化するニーズへの対応が求められ、議論されています。

財源面においては、高齢者の急増と現役世代の減少が同時に進んでいる為、「負担能力のある人にはできるだけ負担して欲しい」という流れにあります。

また、介護保険サービスだけではまかなえないニーズに対して、多種

多様な資源の活用が求められ、特に認知症高齢者には連続した生活支援の必要があり、公的サービス以外の支援の構築が急務です。

可能な限り住み慣れた地域で生活を続けられるよう、①「自助」セルフケア、市場サービスの利用拡大 ②「互助」家族、近隣住民、ボランティア活動 ③「共助」介護保険等 ④「公助」高齢者福祉事業等の支援体制の構築が必要とされています。特に今後は、「自助」「互助」の果たす役割が大きくなり、新たな地域資源の開発が期待されます。

居宅介護支援センターでは、住み慣れたご自宅で生活する為に必要な支援を、今後もご利用者・ご家族と一緒に考えてまいります。

### ひなまつり

3月3日(火)ひなまつりの日、琴名流大正琴「ひまわり会」様をお招きし、童謡「うれしいひなまつり」をはじめ、「船頭小唄」「旅の夜風」「君は心の妻だから」等の馴染みの曲を披露いただきました。

ご利用者の皆さんは、大正琴の音色に癒されながら、演奏に合わせて歌を口ずさんでいました。



### 出張「元気モール」

2月16日(日)に出張「元気モール」を開催しました。

NPO法人原町クラブの杉岡様・佐々木様、チアガール4人とチアボーイ1人を迎え、ポンポン体操やパプリカの歌に合わせて踊ったり、一緒にポッチャゲームを行いました。当日の参加者は10人でしたが、少人数でも楽しい時間を過ごすことができました。



ケアハウスさくら荘

いつもありがとうございます

寄贈 (12月16日～3月15日)

◎横山 里子様 (原町区北長野) おむつ

◎佐藤トシ子様 (原町区上渋佐) ティッシュ

ボランティア (12月16日～3月15日)

\*特別養護老人ホーム福寿園

◎アニマルセラピー

しっぽの会様

◎洗濯たたみ

ひがし地区福祉委員会様

\*福寿園デイサービスセンター

◎マジック マジック研究会様

◎朗読会 鈴木 良子様

◎軽介助

鈴木 良子様

鈴木 照子様

\*ケアハウスさくら荘

◎元気モール

NPO法人はらまちクラブ様

◎歌のつどい

みなみ地区福祉委員会様

◎新年会 八坂会様

◎ひなまつり

琴名流大正琴ひまわり会様

### 編集後記

新年度が始まり、各事業所とも新たな体制でスタートを切りました。新人職員の皆さんは、緊張続きの毎日だと思います。約一週間の集合研修を経て、配属先の研修に移りますが、そこからの道のりも長きに亘ります。体調を整え、「多少の失敗や迷惑は今のうちに！」くらいに気持ちを楽しんで、心の健康も保ちながら着実に成長していきましょう。

新たな体制でのスタートをも一つ。福寿園だよりも今号の発行をもって委員が交代し、次号は新しい広報委員が編集担当となります。引き続き皆さまに楽しんでいただける紙面作りに努めてまいりますので、今後どうぞよろしくお願いたします。

